

## 調査・研修報告書（会派個人用）

会派名： 結

報告者： 坂本 義明

実施場所：鹿児島県霧島市 全国和牛能力共進会鹿児島大会	実施日：令和4年10月7日・8日
<b>■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）</b>  目的 今日全国の和牛生産の実態を目で確かめるため、和牛生産の改良と、生産現場での若者従事による雇用はどうか、調査研究すること。 課題 本市での和牛生産は今後どのように進めるのか、現在のように高齢者による小規模な、ある意味趣味的な生産でよいのか、また、肥育にも力を注ぐのか。考慮する必要がある。	
<b>■参考とすべき事項</b>  和牛も改良が進み大型化している。現在はサシの追求のみでなく、赤肉の重要性も求められている。 全国の元牛には、庄原の種、神石の種、重要な面で導入改良されている。特に開催県の鹿児島県隣の宮崎県の和牛肉と生産肥育に対する情熱は、素晴らしいと感じた。 若者が和牛生産に情熱を持って取り組んでいた。	
<b>■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）</b>  本市には畜産のための基礎として、畜産技術センター、農業者大学校、庄原実業高等学校がある。この地元にある基盤を活用し、若い人材を、生産者、肥育農家として育てるためにも助成制度を設けるなど、行政として協力が必要なのではないか。 JA庄原を頼っての、和牛生産のみの政策は、一度考え直すことも必要なのではないかと思う。 本市も若者に他県のようにもっと和牛生産に興味を持って取り組んでほしい。	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。